

音響信号・騒音マップ

新宿



調査範囲：新宿駅から半径1km以内

時間帯：平日14～16時

音響付き信号機の有無…○×

騒音 …横断歩道中央での騒音レベルを

デシベル測定器

75hz～ : 大○

70~74hz：中○

$\sim 69\text{hz}$: 小○

・青信号の際、

歩行者の数

60人～：赤

15人～59人：緑

～15人：青

道路幅 …二つあるうちの
狭い方

道を○の下にメ
古郷 稲葉 ○又酒井久一

音響の種類…○周辺に矢印で音の
音の種類を各分類

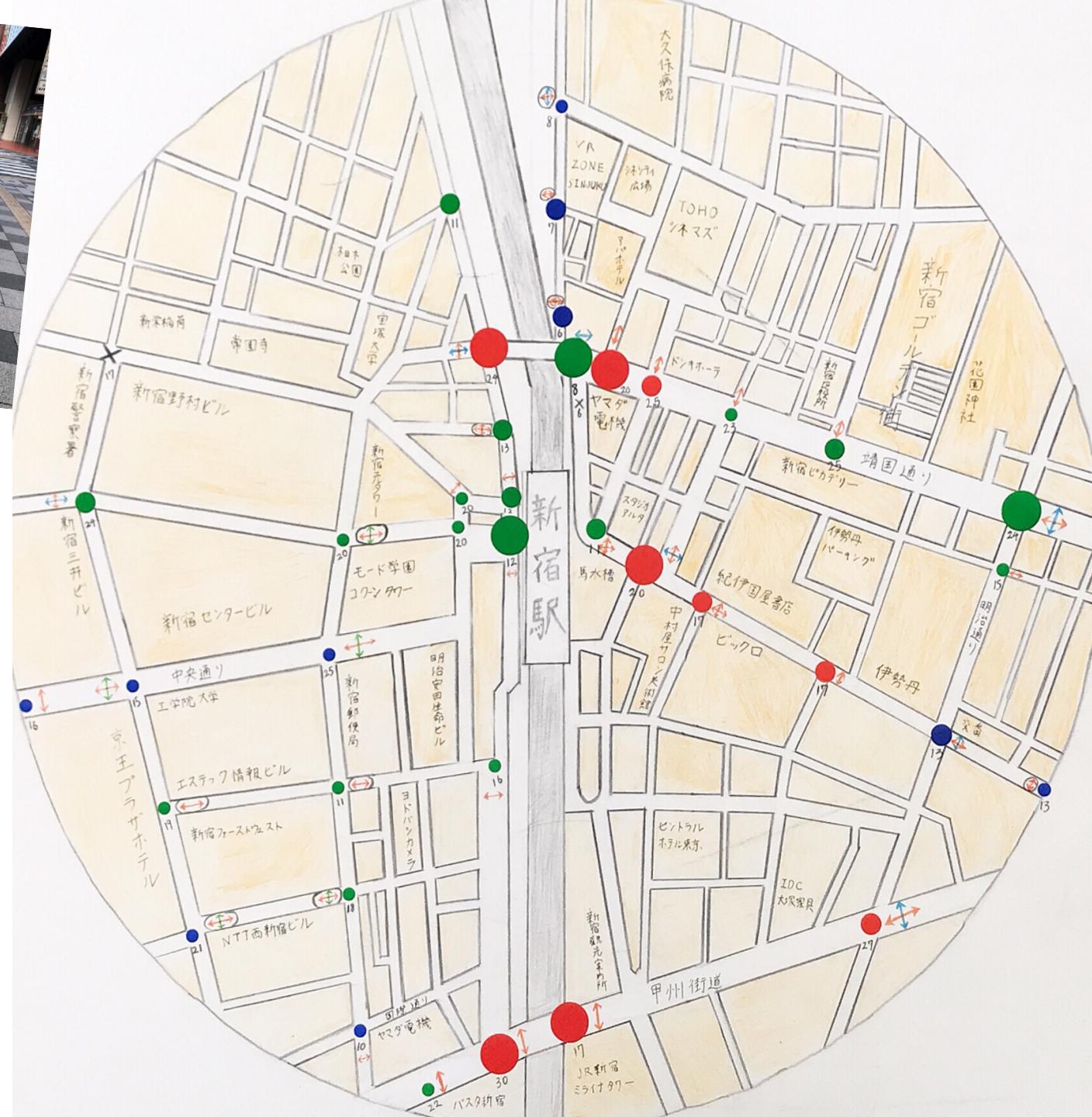
音の種類を色分け

オレンジ：ピヨピヨ

水色 : カッコ一

黄緑 : ビヨンビ
埋木色の左無 埋木色の右無

押しボタンの有無…押しボタン付音響信号の場合、矢印を円で囲う



考察

信号のある場所はほとんどすべて音響付き信号機であった。また道路幅により音響付き信号機の有無は関係なかった。歩行者量に関しては西口はオフィス街であるので、私たちの調査した時間帯では人が少ない傾向であった。逆に東口は繁華街があるため人が多かった。騒音としてはヤマダ電機の大型掲示板やパチンコ店などの近くの横断歩道での騒音レベルはとても大きかったが、音響信号機の音が聞こえづらいということはなかった。第二に車の多い通りが騒音が大きい傾向にある。押しボタン付きの音響信号は狭い通りに多く見られ、これは、車や人の騒音で青になっているかどうかわかりづらいからと思われる。音響の音の種類は三種類あり、基本的には、縦横の横断歩道で種類が分けられていることがほとんどであった。しかし、片方の音響が鳴っていない場合や、どちらも同じ種類の音響の場合などあり、また、東西南北の方向で音の種類が決められているということもなかった。これでは、実際に視覚障碍者が利用する際、正しく理解できないのではないかと思った。方角によって音響の種類を定めることは必要だと思ったし、周りの人が信号を無視しないことなどの小さな考慮が最もバリアフリーを徹底させる上で重要なのでは無いかと私たちは考えた。

17N2006 石井成長

17N2018 加藤慶生

17N2076 水野童星

17N2084 山本航生